

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川体育館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育館は、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績(体育館)

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		80.0%
達成率		100.0%

2 管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標		利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況 (メインアリーナ)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	90.6%	92.5%	-1.9%

利用状況 (サブアリーナ)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況 (柔道場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況 (剣道場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況 (会議室大)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況 (会議室中)

令和4年度 指定管理者年度評価シート

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,183,376	17,796,774	15,299,426	大阪市が行う予定であった法定点検を大阪市に変わり指定管理者が行った費用と、改修事に伴う補填金を計上した。
	計画	8,883,950	8,890,100		
利用料金収入	実績	3,174,690	6,407,500	-12,905,030	天井等改修工事により施設休館をしたため。
	計画	16,079,720	15,981,180		
その他収入 （自主事業収入）	実績	2,991,896	3,138,837	-848,034	臨時休館により、自主事業駐車場収入が計画の15%程になった。収入の大半は計画になかった共同維持管理のための費用按分。
	計画	3,839,930	3,838,720		
合計	実績	30,349,962	27,343,111	1,546,362	
	計画	28,803,600	28,710,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	11,559,638	12,207,069	-5,247,962	天井等改修工事による臨時休館に伴いアルバイト人件費が計画よりも下回った。また、本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。
	計画	16,807,600	16,714,000		
物件費	実績	15,377,650	11,875,205	3,426,650	本社管理費に係る人件費を物件費に計上。計画外の仮設電源装置のレンタルがあった。
	計画	11,951,000	11,951,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	△17,783	51,084	-62,783	4月から12月まで休館していたために、物販の棚卸をしたため仕入れ費用のマイナスとして計上した事によるもの。
	計画	45,000	45,000		
合計	実績	26,919,505	24,133,358	-1,884,095	
	計画	28,803,600	28,710,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	100.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・照明の節電や利用しない部分の消灯、また、ボイラーの使用量を抑えた。 ・年1回の加圧給水設備点検清掃では計画的に水位変化を測定し最小限放水で抑え込んだ。 ・設備や用具は点検時に破損や消耗度を見極め補修した。 ・物品の購入及び更新機器、修理については、複数社から見積りをとり、最安価業者から購入した。 ・施設劣化部分の補修については、可能な範囲で職員の手で作業を行い修復を実施した。 (例) 各種塗装作業・器具庫等スライディング扉の修繕・外部鉄扉の作動調整・鍵の作動点検など ・最大需要電力を絶えず注視して日々の点灯運用を行った。 ・利用者の同意に基づき節電、節水等に協力を頂いた。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・修繕対応など施設不備が発生した際に、即時に対応できた。 ・利用者安全管理のため、30分～1時間毎に巡回を行い事故なく運営管理ができた。 ・改修臨時休館後のリニューアルオープンで3ヶ月経過し順調に回復。 ・改修工事後は1月78.9%、2月93.8%、3月97.8%へと稼働率が増加した。 ・改修したアリーナの照明や床は利用者から好評。 ・従来は役員室以外の居室がなかったが、更衣室場を用意することで利便性を向上した。 ・空調機器の有料貸出しが始まり1月、2月は暖房をご利用いただき安全で快適なスポーツ施設になった。 ・競技者のアリーナ以外でも観客席の転落防止手摺や防球ネット新設を行い、玄関階段の段差解消や補助手摺を新設したことで快適性が増した。 ・50年以上経過する施設だが皆さんに喜んでいただける施設環境を運営スタッフ一同で貢献できていると評価できる。
--

令和4年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

- ・今年度は、改修工事のため4月から12月の長期にわたり休館となった。そのため利用料収入は激減しているのは理解できる。
- ・リニューアル後の稼働率は順調な再スタートをきっているので、これまでの利用者の回復のみならず、新たな利用者獲得に向けて取り組むことで安定した収支コントロールに取り組んでいただきたい。
- ・今年度も昨年度以上に物件費が増加している。原因をしっかりと分析し、健全な財政状況にするよう求める。
- ・収支に関しては大幅な黒字である点が評価できる。改修工事終了後の次年度以降の収支についても安定的な収支計画をもとに、市民サービスの向上という形での還元を期待する。
- ・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。
- ・次年度は、改修工事による新たな設備環境のもと、利用者により一層喜んでいただける施設運営を期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.8%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.5%	98.2%	1.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.5%	97.4%	1.1%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	88.7%	87.1%	1.6%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	22,747,210	24,422,867	0	
	計画	22,747,210	22,740,050		
利用料金収入	実績	6,992,370	5,659,200	-174,840	
	計画	7,167,210	7,167,210		
その他収入 （自主事業収入）	実績	23,422,887	15,536,076	6,840,907	教室定員数の制限を解除した。 利用者ニーズに応え新規教室増設した。
	計画	16,581,980	15,882,140		
合計	実績	53,162,467	45,618,143	6,666,067	
	計画	46,496,400	45,789,400		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,650,899	17,638,798	-4,131,501	本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。正職員退職が1名あり職員給与、法定福利費が計画よりも下回った。
	計画	18,782,400	18,593,400		
物件費	実績	19,905,497	18,502,197	2,109,497	本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。光熱水費のガス料金高騰で計画よりも上回った。
	計画	17,796,000	17,578,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	14,793,043	10,473,727	4,875,043	利用者ニーズに応じて、新規教室の開催で講師料増と自主事業に係る施設利用料を計画では計上していなかったため。
	計画	9,918,000	9,618,000		
合計	実績	49,349,439	46,614,722	2,853,039	
	計画	46,496,400	45,789,400		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	108.8%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・設備・用具は点検時に破損や消耗度を見極め補修した。 ・物品の購入及び更新機器、修理については、複数社から見積もりをとり、最安業者より購入した。 ・光熱費の削減においては、不要部の消灯に努めた。 ・夏季の利用時間は施設内空調機器の調整で室温を一定にした。 ・ボイラーの運転時間や設定温度を季節に応じて調整した。 ・蛍光灯は一部LED化となったが、第一・第二体育場、3階階段ロビーが未整備のため、消費電力をこまめに確認した。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・修繕対応など施設不備が発生した際に、即時に対応できた。 ・利用者安全管理のため、30分～1時間毎に巡回を行い事故なく運営管理ができた。 ・コロナ渦の影響はあったが、年間通して臨時休館なく開館ができた。施設稼働率も、第1体育場99.5%、第2体育場98.5%、多目的室88.7%、合計で95.6%とコロナ前とほぼ同程度になり、多くの方にご利用いただいた。 ・夏場の体育場の室温上昇においても、スポットクーラーの増設を行い体調不良者での救急搬送もなく終わることができた。 ・自主事業教室では、チアダンス、キッズダンス、器械体操の小学生低学年のクラスは人気が高い。
--

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率は、各室とも高く、一昨年より昨年度、昨年度より今年度とアップしており、施設運営の努力がうかがえる。 ・収支について、昨年度の指摘を踏まえ、黒字に改善している点は高く評価できる。 ・退職者による人件費の減が計上してあったため、スタッフの労働過多にならないよう、スタッフの補充等検証、調整のこと。 ・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。 ・今後も安全で安心して利用できる施設運営に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当（担当：徳田）
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82%
達成率		102.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.0%	94.7%	103.5%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	95.0%	93.4%	101.7%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	58.0%	57.9%	100.2%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,067,059	22,267,510	5,777,319	大阪府が実施予定であった法定点検を指定管理者が実施したことで、業務代行料を変更した。及び、大阪府が行う工事の立替費用の清算金を計上した。
	計画	18,289,740	18,295,940		
利用料金収入	実績	8,694,760	7,054,220	-800,080	多目的室が計画していた稼働率よりも下回った。多目的室は球技に使用できず、種目が限定される。
	計画	9,494,840	9,494,840		
その他収入 （自主事業収入）	実績	8,908,964	6,028,261	-2,256,056	社会情勢の変動等により、教室定員の充足に至らなかった。
	計画	11,165,020	10,909,820		
合計	実績	41,670,783	35,349,991	2,721,183	
	計画	38,949,600	38,700,600		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	13,832,720	15,066,112	-4,401,880	計画では、本社人件費にかかる費用を人件費に計上していたが、物件費のその他経費で一括計上をしたため計画より下回った。
	計画	18,234,600	18,045,600		
物件費	実績	23,849,091	16,015,801	8,224,091	本社人件費をその他経費で一括計上したこと、光熱水費高騰、立替の工事費用により上回った。
	計画	15,625,000	15,625,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	6,054,058	3,687,484	964,058	教室の広告掲載費用や教室で使用する消耗品費が計画よりも上回った。
	計画	5,090,000	5,030,000		
合計	実績	43,735,869	34,769,397	4,786,269	
	計画	38,949,600	38,700,600		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	102.5%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室の空調は、利用状況を見て節電に務めた。 ・修繕は複数の業者に見積をとり安価な業者を採用した。 ・トイレの流水時間を短くし、使用量を抑えた。 ・貸し出し備品は定期点検を行い、劣化があればすぐに補修することで購入更新時期を伸ばした。また、利用者に対して正しい使用して頂くように協力を求めた。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・修繕対応など施設不備が発生した際に、即時に対応できた。 ・利用者安全管理のため、30分～1時間毎に巡回を行い事故なく運営管理ができた。 ・施設稼働率は第1体育場98.0%・第2体育場95.0%・多目的室58.0%、合計87.2%。多目的室の稼働率が低く、ジュニア体操短期教室や教室利用者の自主練習等、広報活動したが効果がなかったため、フラダンスサークル・柔道・空手サークル小・中・高校のダンス部等に誘致活動を実施した。 ・自主事業収入は計画より67%の達成にとどまり新型コロナウイルス感染症の影響で教室参加者が大幅に減少した。 ・過去の経験から館内の巡回を強化し、事故・怪我等の防止に努めた。この成果もあり救急搬送を伴う大きな事故の発生はなかった。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

- ・稼働率は、各室とも高く、昨年度より今年度とアップしている点は評価できる。
- ・収支について、昨年度の黒字から赤字になっている。光熱費高騰による支出減は理解できるが、利用料収入、自主事業収入の減少については、アップに向けた効果的な対策を講じられたし。
- ・稼働率の低かったプログラムを検証し、次の対応を行っている点（ダンス部招致等）は評価できる。赤字プログラムの検証を随時行い、プログラム内容や提供の方法、PR、講師等改善を継続していただきたい。
- ・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。
- ・今後も安全で安心して利用できる施設運営に努めていただきたい。
- ・多目的室の利用率の低迷については、課題として捉え対応を行っていると思われるが、引き続き取り組みを行うことを期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当 (担当: 徳田)
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績 (屋内プール)

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		93.0%
達成率		116.3%

2 管理運営の成果・実績 (トレーニング室)

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績 (アイススケート)

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況 (屋内プール)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	128,827	93,909	34,918
稼働率			

利用状況 (屋外プール)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況 (トレーニング室)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	34,374	26,050	8,324
稼働率			

利用状況 (アイススケート)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異 (実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	84,180,999	81,197,039	14,806,439	令和4年度から指定点検を指定管理者が実施したため業務代行料の発生があった。新型コロナウイルス感染症の拡大及び光熱費の高騰に伴う収支悪化を理由とする損失補填があった。
	計画	69,374,560	69,404,640		
利用料金収入	実績	44,502,450	33,001,375	-21,890,550	令和3年度プール天井改修工事の影響による利用者離れと、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少した。また自主事業に係る施設利用料を個人の利用料から専用利用料に変えたため。
	計画	66,393,000	65,903,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	44,221,712	34,061,978	11,144,472	自主事業に係る施設利用料を自主事業収入から支拂う計画であったが、法人が専用利用メニューを適用したため、自主事業収入から利用料金収入に振替えなくなったため。
	計画	33,077,240	32,254,660		
合計	実績	172,905,161	148,260,392	4,060,361	
	計画	168,844,800	167,562,300		

支出		当年度	前年度	差異 (実績-計画)	主な要因
人件費	実績	45,930,809	47,044,923	-24,380,191	自主事業に係る正職員とアルバイトの人件費を自主事業経費に計上した。本社管理に係る人件費を計画では計上していたが、物件費に計上した。
	計画	70,311,000	69,028,500		
物件費	実績	114,883,319	88,845,863	19,193,519	施設の老朽に伴う修繕件数及び単価の高騰とエネルギー価格高騰の影響があった。本社管理に係る人件費を物件費に計上した。
	計画	95,689,800	95,689,800		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	16,504,672	16,349,461	13,660,672	自主事業に係る専用利用料と人件費を自主事業経費に計上した。
	計画	2,844,000	2,844,000		
合計	実績	177,318,800	152,240,247	8,474,000	
	計画	168,844,800	167,562,300		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	116.3%	A	
利用者満足度（トレーニング場）	112.5%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・節水シャワーアダプターの設置により、水道使用量の削減をした。 ・給湯ハイブリットシステムの導入により、ガス使用量の削減をした。 ・循環装置を設置し、本来は廃水しているプール残留塩素サンプリング水を還水槽へ循環させて再利用することで水道使用量の削減をした。 ・不要な箇所の照明や間引きをすることにより、電気使用量の削減をした。 ・スケールメリットを活用した契約を電力会社と締結し、電気使用料の削減をした。 ・物品の購入及び更新機器、修理については、複数社から見積もりをとり、最安値業者から購入した。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・修繕対応など施設不備が発生した際に、即時に対応できた。 ・利用者安全管理のため、30分～1時間毎に巡回を行い事故なく運営管理ができた。 ・東淀川区有料広報広告に毎月教室募集広告、利用案内広告を掲載したことで、令和3年度よりも教室受講者、施設利用者が回復傾向となった。 ・施設の老朽化に伴い、予定以上に修繕箇所が多かったが、日々の巡回点検・管理を強化し、利用者の安全を第一優先に管理運営を行えた。 ・熱中症予防の為に体調管理の喚起と利用者の顔色確認を実施した。
--

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・プール、トレーニング室ともに高い満足度を維持し、利用者数も昨年度を上回っている。 ・東淀川屋内プールは、レジャー施設的な性質もあり地域の方から非常に人気のある施設であり、今後も安全で安心して利用できる施設運営に努めていただくことで、新規の利用者開拓にも尽力していただきたい。 ・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。 ・昨年度に引き続き収支がマイナスである点が残念である。徐々に利用者数が回復している現状にあってマイナスになる要因は何か。収支分析をしっかりと行い、改善を果たすように期待する。 ・物件費の上昇が収支にマイナスの影響を与えていると考えられる。修繕費、水道光熱費の増加を要因として挙げているが、その他の経費を含めて全体として経費削減の余地が無いかを検討することが求められる。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	